

平成30年度第29回関東高等学校バスケットボール新人大会

ALL KantoH Rookies 2018 in Chiba



(男) 1回戦

試合日: 2019/02/09
 開始時刻: 9:00~
 会場: 大網白里アリーナ
 コート: Aコート
 試合順: 第1試合(男)1回戦

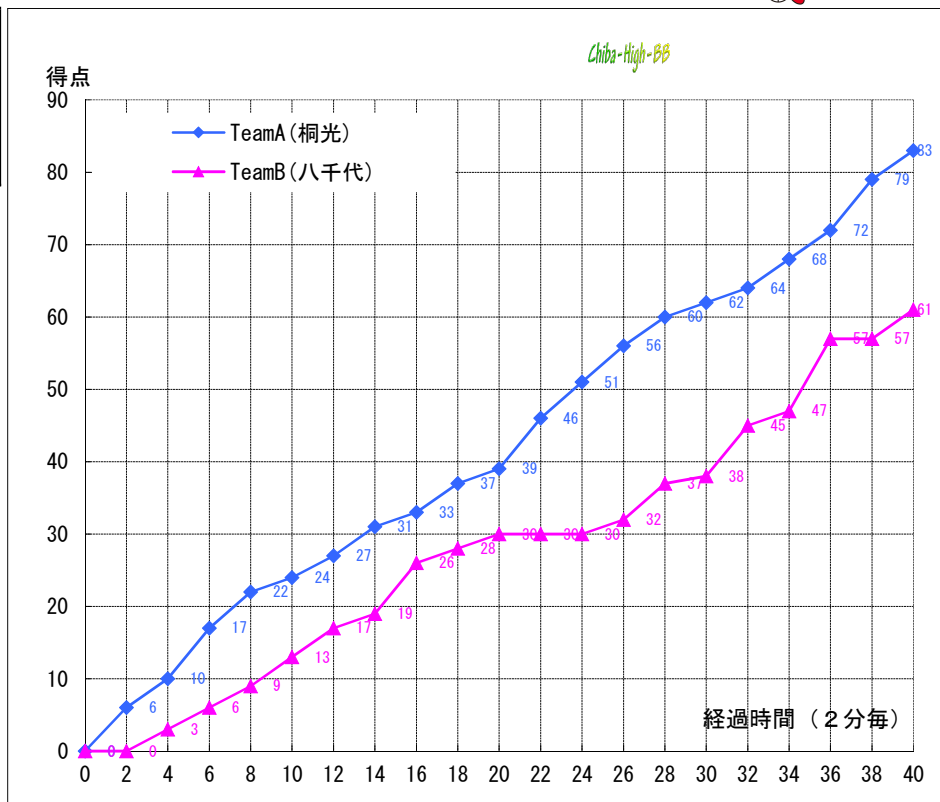
Team A		Team B
桐光	83	八千代
(神奈川県)		(千葉県)

TeamA (桐光)

No.	PT	選手名	得点	3P [*] イント 成	2P [*] イント 成	フリース 成	反則	リバウンド [*]			アシ スト	ブロッ ク ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	◎	柏 奏太	16	2	5	0	2	1	5	6	0	0	2
5	◎	萩原 康平	18	0	6	6	1	1	4	5	5	1	3
6	◎	川上 裕樹	9	1	3	0	4	1	5	6	3	0	4
7	◎	兪 龍海	18	0	9	0	0	2	8	10	0	1	0
8	◎	鍵谷 和輝	1	0	0	1	0	3	1	4	0	0	0
9	○	佐藤 侖	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
10	○	増田 亮介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	○	鈴木 開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	○	伊藤 治輝	3	0	1	1	3	3	4	7	0	0	0
13	○	磯崎 大護	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0
14	○	大竹 峻叶	4	0	2	0	1	1	1	2	1	0	1
15	○	進 翔太	8	0	4	0	1	2	7	9	0	0	2
16	○	森 義智	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
17	○	小田 光太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	○	近藤 航太郎	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
Team / Coach:							-	4	6	10			1
合計			83	3	33	8	12	20	43	63	9	2	13

TeamB (八千代)

No.	PT	選手名	得点	3P [*] イント 成	2P [*] イント 成	フリース 成	反則	リバウンド [*]			アシ スト	ブロッ ク ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	◎	松岡 里樹	8	1	2	1	1	2	3	5	3	0	4
5	◎	阿部 颯太	13	4	0	1	3	1	1	2	1	0	1
6	◎	新井 理久	27	3	8	2	3	4	10	14	6	1	5
7	◎	安部 大毅	2	0	1	0	1	3	2	5	0	0	0
8	◎	富田 祥希	2	0	1	0	2	2	7	9	1	0	2
9	○	蓬田 一星	5	1	1	0	1	1	3	4	0	0	0
10	○	松下 真也	2	0	1	0	2	0	2	2	0	0	1
11	○	酒井 郁志	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1
12	○	渡辺 昂暉	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
13	-	浅野 海斗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	○	下田 嶺多	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	○	坂田 空	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0
16	-	岩崎 壘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	赤間 翔太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	金子 紘弥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							-	2	1	3			-
合計			61	9	15	4	16	17	30	47	11	1	14



タイムアウト

	前半(1-2P [*] リポ [*])	後半(3-4P [*] リポ [*])	延1	延2	延3	延4
TeamA	17:01	34:23				
TeamB	5:32	19:22	21:44	26:26	35:47	

【戦評】

両チームともマンツーマンでゲーム開始。195cmの選手を2枚擁する桐光学園は#7を中心に高さを活かし得点していく。一方、地元・八千代は硬さが見られ思うように得点が伸びない。それでも、#5の3Pシュートを中心に何とか食らいつき、24対13で第1Q終了。第2Q、点差を縮めたい八千代はボールマンへのプレッシャーを強め、得意の速い展開に持ち込む。積極的なオフェンスリバウンドへの参加、#6の活躍により徐々に流れが変わっていく。残り4分#6のバスケットカウントで7点差まで縮まる。一方の桐光学園は#6のドライブインなどで加点し、簡単に逆転を許さない。39対30で桐光学園が9点リードで前半終了。後半に入り、桐光学園のチームディフェンスを前に八千代は思うようにシュートまでいけない。桐光学園は速攻を連発し、62対38と大きくリードを広げ、第3Qを終える。最後まで諦めない八千代はオールコートで積極的にボールを奪いに行く。残り4分#5の3Pで13点差まで縮まるが反撃もここまで。メンバーチェンジをしながら83対61で桐光学園が勝利した。

審判	/ /	記入者	満留 啓
----	-----	-----	------